

私たちは、地域住民の心と身体の健康をささえる病院として  
「こころのふれあい」を大切に、安心と満足、信頼を得られる医療を行ないます。

八幡青樹会病院 季刊広報紙

平成16年10月1日 発行  
発行責任者 広報委員会  
地域連携室

# 青葉の風

 第3号

秋風そよぐ季節になりました。八幡青樹会病院の季刊広報誌「青葉の風」第3号をお届けいたします。  
アテネオリンピックでは多くの日本人選手が活躍し、多くのメダルを獲得し、感動と希望を与えてくれました。  
今回の当院広報誌「青葉の風」も、話題たっぷり、ホットな話題をお知らせいたします。

## ～ 八幡青樹会病院ニュース ～



### 青樹会病院野球部 第59回国民体育大会出場決まる！

8月21日、22日の両日、京都市西京極球場において第59回国民体育大会の軟式野球近畿ブロック予選が行われました。青樹会病院野球部は奈良県の強豪、佐藤薬品工業と決勝戦で対戦、2-0で近畿ブロック第一代表に選ばれ2年ぶり6回目の国民体育大会への出場が決まりました。過去、青樹会病院野球部は国体全国6位の成績をあげていますが、今年も上位入賞が期待されています。オリンピックの日本選手に負けないよう頑張りますので皆様の熱いご声援をお願い申し上げます。



### 番号制による外来呼び出しを開始いたしました 医事課受付担当 岡野 久美

当院では7月1日より、外来診察時の患者様の呼出しをすべて受付番号で行わせていただいております。これは、患者様から「名前と呼ばないで欲しい。」とのご要望が寄せられたことをもとに、医療サービス改善委員会や、人権擁護委員会で検討し、番号制として改善を図ったものです。また、放送による呼出しだけでなく、待合ロビーのディスプレイに番号を表示することで、受付から会計までの流れがスムーズになりました。受付の際の手続きが若干変更されていますので、ご不明な点はご遠慮なく窓口スタッフにおたずね下さい。



### 今年も暑い夏が終わりました 作業療法室 矢野 公子



8月11日、恒例の盆踊り大会が地域の方々や、患者様、職員と200名余りが集まり、中央駐車場にて盛大に行われました。すっかり年間行事として定着した盆踊りですが、職員の色とりどりの浴衣姿に、掛け声や歓声が沸いていました。カフェ・ド・歩°歩°も初めて参加し、かき氷とタコヤキが大人気、夏の思い出を添えてくださいました。



### てんびんまつりに参加して 臨床心理室 近藤 美奈

毎年恒例の近江八幡市てんびんまつりに、当院は今年もフリーマーケットを出店しました。台風の影響が残る8月1日当日は、風も強く、テントが飛ばされそうな悪天候の中でしたが、多くの職員がボランティアとして協力してくれました。職員の子供さんも、可愛い売り子さんとして大活躍してくれました。職員から寄付された衣服や日用品、DIYケアプログラムで作成した手作りコースターは完売！ 売上金は地域の社会福祉法人にすべて寄付させていただきました。恒例の無料血圧測定は、体の大きい男性看護師のため、お客さんはがっかりしていたような・・・？ 来年も出店しますので、遊びに来てくださいね！

### 喫茶カフェ・ド・歩°歩° 新メニュー紹介 8月に新しいメニューが加わりました

8月に行われました盆踊り大会で「タコヤキ」を出張屋台で販売させていただいたところ、大好評で予想外の売行きとなったため、レギュラーメニューに加えさせていただくことになりました。6個150円とお値段もお手ごろで、タコの美味しさは天下一品。ちょっとおながへった時にいかがでしょうか。従業員一同心よりお待ちしております。

DIYケア・歩°歩° 担当 精神保健福祉士 関川 美弥



~~~~~ 精神保健福祉にまつわる Q&A ~~~~~

このコーナーは、当院の5名のソーシャルワーカー（精神保健福祉士）が患者様から特に質問の多い項目についてお答えします。更に詳しい内容については御遠慮なく当院ソーシャルワーカーにお尋ねください。

質問 精神障害者の通院医療費が補助される制度があると聞いています。私は国民健康保険に加入していますが、どのくらい補助されるのですか？また、どのような手続をするのですか？

= お答え =

精神障害や精神の病気で通院したときにかかる費用を都道府県が補助してくれる医療制度を通院公費負担制度といいます。通常、病院にかかったとき国民健康保険の人は30%の自己負担があります。この制度を使うと、自己負担は総医療費の5%のみとなり、残りの25%は都道府県が補助してくれるのです。つまり、総医療費1万円だったとき、自己負担は3000円(30%)になりますが、更に通院医療公費負担制度を利用することにより、この自己負担は500円(5%)になり、残りの2500円が助成されることとなります。残りの健康保険負担分の70%は従来通りですので、健康保険に加入していることが前提となります。保険の種類にかかわらず、制度の利用者の負担は一律5%となっています。申請の際には申請書と診断書が必要となります。それらは市区町村にあります。精神科を広告(標榜)する病院や診療所の多くは、診断書を用意しておりますので、受付等で問い合わせてください。(当院にもおいてあります。)窓口、提出先は住民票がある市区町村役場になります。以前は保健所が申請の窓口でしたが、変更になっておりますので、お気をつけください。

ご存じですか？

八幡青樹会病院の高齢者デイケア

痴呆症の方の介護にお困りではありませんか？「最近うちのおじいさん物忘れがひどくて...」、「うちのおばあさん夜中に起きてきてご飯を食べるの...」、「介護の負担が大きくて家族まで病気になるようで...」といった皆様のご相談に応じます。



**どんな施設でどんなことをするの？** 痴呆症の方の医療・介護・看護・リハビリ

テーションを広いスペースの中で行っています。対象者はアルツハイマー型痴呆や脳血管性痴呆などの外来患者様です。実施日は、月・火・木・金(祭日および当院外来の休診日はお休みとなります)の午前10時から午後4時までで、送迎時間は含みません。ご利用までに当院の外来受診(保険適用)が必要です。詳しくは当院の高齢者デイケア担当者 横田 田口まで御連絡ください。

ほのぼのエッセイ

おとな用のおっばい

八幡青樹会病院 副院長 精神科医 山折茂樹



ちょっと恥ずかしい事なんです、わが家の2歳になる娘は今でもおっばいが大好きで、事あるごとに「おっばい、おっばい。」と言いながらお母さんの胸にしがみついています。そして泣いていたり、怒っていたり、どんなに機嫌が悪くてもおっばいを飲むとすっかり治ってしまい、ニコニコ笑ったりそのまま眠っています。そんな様子

を見てみると、おとなでもおっばいと同じように効果があれば便利なのだと思います。不機嫌な人、眠れない人たちがおっばいを飲んで落ち着いてしまえば、何の害もなく中毒の心配もいりません。ただし私たちのような仕事も不要になってしまうでしょうけど・・・。

あとがき

ある物理学者の書いた「タイムマシンは本当に可能か」という本を、病院のはうあゆう文庫で見かけ、読んでみました。単なるSFではなく、アインシュタインの相対性理論から科学的にタイムトリップを検証した興味深い本でした。唯一人間だけが、過去の栄光や、未来への希望が動機づけになって生きる動物だそうです。未来を知りたいという興味はつきませんが、読んでいるうちに、未来がわかれば生きていく面白さも半減してしまいそうな気がしましたが、最新の科学からタイムマシンに真面目に取り組んだ面白い本でした。明日は何が起こるのかワクワクする思いは残したいですね。

発行 八幡青樹会病院 広報委員会・地域連携室 直通電話 0748-33-7104 (医療社会事業課内)